

歴史サークル 5月の活動

今月は21期生による史跡案内です。
21期生と、先輩の応援での案内となりました。
案内コースは、欽明天皇陵・吉備姫墓・猿石～鬼の雪隠・俎～天武・持統天皇陵～中尾山古墳～高松塚古墳～檜隈寺跡でした。
晴天に恵まれ、素晴らしい新緑の樹を眺めながらのガイド日和となりました。



【欽明天皇陵・吉備姫墓にて】

元々は、欽明天皇陵の周濠に並べられていましたが、それぞれが、それが南側の田んぼに落ち、土中埋もれてしまった。そして猿石は、5回ほど転々と移動することになりました。



【鬼の俎・雪隠にて】

鬼の俎と雪隠は、元々、棺を納める横口式石槨と呼ばれる石室でした。しかし、上蓋と床石が別れ、上蓋は道端の下に落ちて、雪隠になり、床石はそのままの所で俎になりました。



【天武・持統天皇陵にて】

被葬者が特定可能なのは、明治 13 年（1880）、京都梅尾の高山寺から発見されたこの陵の盗掘の様子を調査した「阿不幾乃山陵記」と呼ばれる記録が残されていたからです。



【中尾山古墳にて】

古宮遺蹟から出土した「金銅製四環壺」が、現在宮内庁に所蔵されており中尾山出土の骨臓器ではないかといわれています。



【高松塚古墳にて】

高松塚古墳の棺の様子を別の見方で披露していただきました。
そして、檜隈寺跡へ
渡来系氏族の東漢氏の本拠地に建てられた氏寺の説明を受ける。